

# 自然微生物農法

## 稲作マニュアル（概要）

1. 自然と共存共生し、稲の生命力を最高に発揮させ、無農薬・無化学肥料で、多収穫で、美味のお米が生産できます。ミネラル、アミノ酸成分も抜群に濃いお米です。雑草も抑制する画期的な自然農法です。

2. 田んぼにドジョウやメダカ、タニシが戻り、自然の小動物、藻の豊かな田んぼに戻ります。津軽ではホタルが田んぼに十数年ぶりに戻りました。そして雑草も抑制して、雑草処理の人件費、120万円/年間がゼロになりました。

### 3. これまでの実績

#### (1) 2000年

秋田県 渡部氏…穂粒 144粒（通常の倍）、茎が丈夫で倒壊せず、  
タニシが増える

渡部氏の田んぼは、NHK で安全な稲作りのテーマで放映され、  
2001年に東久邇宮記念賞を受賞

#### (2) 2001年～2004年

新潟県 平原氏…10俵/反以上の収穫、4年間、米の分析で無農薬の実績

見附市と JA から地元農家への無農薬稲作の指導をするように  
要請された

コシヒカリとイセヒカリの混血により 200粒の稲ができた

#### (3) 2003年

長崎県 高井氏…200粒の稲を植え、再び 200粒の稲を再現

2004年5月20日田植え、8月末刈り取り、1株の田植えで25粒  
に分結し、通常の倍の収穫8月末に再田植え、11月に刈り取り  
180粒収穫、二毛作が実現

年間収穫量 3.5倍を記録

(4) 2004 年

茨城県 自然耕グループ

小野里氏…稲のミネラル分析標準値玄米マグネシウム

110mg/100 g 中 256mg/100g 中、鉄 2.1 が 2.2、亜鉛 1.8 が 2.0

福島県 中村氏…米の食味値 83

栃木県 澤田氏…大量のドジョウが発生

栃木県 高木氏…前年通常農法で 7 俵/反が、自然農法で 13 俵/反に増加

(1 俵=60kg)

国連が世界の食糧危機対策のため稲作の増産を奨励。

rice is life が標語

事務局の FAO に自然農法の稲作の写真を提供した所、技術説明を求められ、提出。

FAO より、「自然農法が発展途上国の低コスト稲作生産に適している。日本の筑波で、秋に世界の稲学者の国際会議があるので、発表したら良い。」とコメントを受ける。

(5) 2005 年

自然耕グループ数十名がテスト栽培

醗酵技術所持者 7 名～

栃木県 澤田氏…食味値 84 点 (機械測定値の満点 85)、

20 名平均前年 74 点が 82 点へ向上

長崎県 高井氏…田植えから刈り取りまで 70 日のスピード栽培が実現

多収穫米 240 粒着穂の稲が 391 粒着穂

(6) 2006 年

7 年間 無農薬稲作の生産実績を達成

新潟県 高久氏…福島で自然農法の生産米食味値テスト 91 点で、

福島農協開設以来の最高点

栃木県 澤田氏…那須塩原市で、高収穫米 300 粒の生産実現

長崎県 高井氏…佐世保で、早生米 2.5 ヶ月×2 二毛作成功

コシヒカリ並の美味しいお米

(7) 2007 年

新潟県 高久氏…福島で自然農法の生産米食味値テスト 93 点で、

福島農協開設以来の、最高点

三越デパートより、この米を販売したいとの申し出有り

新潟県 平原氏・・・新潟県が5年間無農薬分析表を評価し、新潟県認証特別栽培農産物として認定が下りる

(8) 2008年

秋田県 渡部氏・・・社会文化功労賞を受賞  
自然農法の実践のパイオニア

(9) 2010年

新潟県 高久氏・・・食味値で99点、そして2012年に100点を記録  
日本最高点

(10) 2018年

岩手県 菅原氏・・・「第12回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト in 庄内町」のメジャー部門で、3位相当の優良金賞に輝いた。

#### 4. 栽培方法（作業工程）

(1) 「総合土壌改良液」の散布

360～540/反（10アール）が使用量の目安です。

雑草の多い田（栄養分の少ない田）は、さらに360/反（10アール）を追加する必要性があります。その際、雑草は処分してください。

使用方法は、まず水田土壌を10～20cmほど軽く耕してから、この土壌液体肥料（「総合土壌改良液」）を、水田に水を張る前に散布してください。

液体肥料の成分は、お米の味を良くするアミノ酸の多いもの、ミネラルが世界一多いもの、糖分や甘さなど味と栄養素になるものが含まれています。

雑草を抑制する作用のものも含まれておりますが、その成分は稲には栄養成分として働きますので安心です。海草・淡水藻も原料で、お米のミネラルを濃くしてくれますし、光合成能力を高めます。世界一成長力のある海草も含まれ、成長促進成分を濃く持っています。素材は全て自然界の植物で安全です。ミネラルとして、海藻粉末の散布（50kg/反）をおすすめします。

さらに、米糠は土壌微生物の大好物ですから、多めに土壌に入れてください。

(2) 育苗の苗の葉への「葉面散布液（成長促進）」の葉面散布

稲の葉の光合成能力と成長能力を高めます。

苗用葉面散布液を自然水で50～100倍に薄め、田植えする前の苗に葉面散布します。

(3) 「水田の水活性液」を田んぼの水に注入 20～40/反。

水の溶存酸素を濃くし、水槽や藻を発生させ、植物が酸素を出し、これによりメダカやタニシが増えます。溶存酸素の多い水は稲の収穫を多くします。

(4) 稲の葉への「葉面散布液（成長促進）」葉面散布 20/反。

成長力を増し、光合成能力を高め、アミノ酸タンパクの生産能力を増やすことになり、光合成能力が高くなると、日照不足や低温対策となります。

稲の葉面散布液を、自然水で 50 倍～100 倍に薄め、全体で 2～3 回葉面散布を行うと理想的です。

<p>自然微生物農法</p> 	<p>DVD 169分</p> <p>【収録内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物は誰が育てているのか</li> <li>・誰でもプロになれる自然農法の紹介</li> <li>・薬膳野菜の作り方</li> <li>・巨大な野菜の作り方</li> <li>・現代農法の問題全ての解決策…無農薬、病虫害忌、連作障害、異常気象対策、etc…</li> </ul>	
<p>書籍シリーズ NoA-01 A4版 26P</p> 	<p>書籍シリーズ NoA-30 A4版 24P</p> 	<p>書籍シリーズ NoA-31 A4版 35P</p> 

## 農業用醗酵液の種類と使用量

※1反は300坪です。小さい畑などでご使用の際は、比例計算して下さい。

	NO.	名 称	使 い 方
土 づ く り	1	総合土壌改良液	60 L/反 土壌散布 水銀、ダイオキシン、農薬、放射能、塩分、油分、 重金属 etc. を分解します。(均一に散布するた め水で2倍希釈:120 L/反、3倍希釈:180 L/反)
	2	雑草抑制液	30 L/反 土壌散布 ※畑固有の雑草…その畑の雑草より作成
	3	連作障害対策液	原液 30 L/反 土壌散布
有 害 物	4	放射能除染液	葉と土壌が湿る程度散布
成 長	6	成長促進液(葉面散布用)	50~100倍に水で希釈 葉面散布 植物の生涯で1~3回。多くとも週1回が限度。
病 気 ・ ウ ィ ル ス	7	病虫害予防液	200~300倍の水で希釈 葉と土壌に散布
	8	ウィルス病予防液	200倍の水で希釈 葉と土壌に散布
	9	シルバーリーフ対策液	トマトやその他のウィルス病の野菜、果菜に。 200倍の水で希釈 葉と土壌に散布
	10	パナマ病対策液	バナナやその他のウィルス病の野菜、果菜に。 200倍の水で希釈 葉と土壌に散布
薬 効	11	薬膳野菜用 (Ge, Se, Li, Zn, P, Sa)	50~100倍に希釈 葉面散布
	12	ベータカロチン用(アスタキサンチン)	50~100倍に希釈 葉面散布
獣	13	獣忌避液	100~300倍の水で希釈 葉と土壌に散布
田	14	水活性液	2~4 L/反 の水に注入